

教育長賞

(中学生の部)

「コトバ」

岸和田市立桜台中学校1年 酒井 安慈 さん

「コトバ」というのは、たった一瞬で、たった一言で大きな問題を引き起こしてしまう驚異的な凶器です。僕達みんなが、「コトバ」という凶器を持っています。そう考えると自分自身、知り合いや家族から恐怖を感じることがあります。

例えば友達や兄弟とゲームをしていて、負けたり、結果が悪かったりすると咄嗟に「だるっ」や「キッショ」などを、口に出してしまいます。友達や兄弟に言ったつもりではなく、ゲームに向かって言った「コトバ」だけれど、知らず知らずのうちに勘違いをさせてしまって、傷つけているかもしれません。僕も、逆の立場になって考えると、自分に向かって言っていると思って、「ドキッ」となると思います。

ニュースを見ていると、この世の中には、コトバによる深刻な問題がたくさん起きています。例えば、SNSでグループの仲間外れがあり、見えないところで洒落にならないほどの「コトバ」の暴力を受け、仲間はずれにされていた人が自殺したという事件を見ました。「コトバ」によるいじめによって不登校になってしまった人がいるということも聞きました。その人たちをいじめていた人はとても許せません。自分では冗談や軽い気持ちのつもりで言っても、相手はその何十倍、何百倍、と重く感じ、とても怖いと思います。

このことから、「コトバ」は人の命を奪ってしまうかもしれない恐ろしい存在だと思います。

しかし、「コトバ」を正しく使えば、誰もが充実した毎日をご過ごせると思います。

ある日の夕食時、お母さんが作ったごはんを食べ、「美味すぎてコレ売れるで！」と言ったら、お母さんは「そんなことないわ」と言っていました。いつもよりあきらかに表情は嬉しそうで、喜んでるように思いました。お母さんの喜んでる姿を見ると、僕も嬉しい気持ちになりました。「コトバ」は褒めた人も、褒められた人も嬉しい気持ちになるんだと思いました。

また、野球部の練習中で、自分がエラーをしてしまったとき、「次は行けるよ！」や「ナイスチャレンジ！」など、先輩や同期からのたった一言でとても安心できたこともあります。すぐに切り替えることができました。それは、スポーツだけではなく勉強中でも、目標に向かって取り組んでいるときに、「がんばってるなあ」の一言で僕は勉強意欲がより湧いてきて、もっとやろう！という気持ちになります。「コトバ」で元気を出したり、勇気が出たりします。

僕は、「コトバ」は心に傷をつけたり、幸福を与えたりすることができる、良くも、悪くもない存在だと思います。一人一人が良く考えて「コトバ」を使い、みんなが幸せになればいいなと思います。

世の中の人々が、相手の気持ち、心を思い合った「コトバ」を使い、いじめや「コトバ」

の暴力が無くなって欲しいと思います。

僕自身も日頃の言葉遣いを改めようと思いました。そして友達や家族が困っていたら、声をかける、話を聞く、を実行しようと思えます。なるべくラインやSNSではなく、面と向かって、対面でちゃんと顔を見てコトバを交わしたいなと思います。